

しんしょうじいしべい
新照寺石堀

所在地：始良市始良町住吉字櫻木 545

構造規模：石造，延長 58 m

竣工：明治 28（1895）年

境内地の南辺と西辺際に流れる水路に沿って築いた城郭風石積擁壁の上に，尺角状の長石を 3 段に積み，頂部に笠石を載せる。門柱同様に^{ですみ}出隅部の笠石に反りをつけるなど凝ったつくり^{ですみ}に特徴がある。石堀に嵌め込まれた銘板石から年代は判明。

登録有形文化財 46-0071 平 20.4.18 登録

登録基準：国土の歴史的景観に寄与しているもの



しんしょうじつうようもん
新照寺通用門

所在地：始良市始良町住吉字櫻木 545

構造規模：石造，間口 1.1 m

竣工：明治 28（1895）年

本堂^{げじん}外陣の西方，石堀北端部に位置し，西側道路から登る 9 段の石階段の上に建つ。間口 1.1 m，門柱高 2.0 m の石造門で，1 本石の長石を門柱とし，門柱間に屋根型の楣石を載せる。楣石の上面につけた反りが，正面及び石堀と同時期の築造を物語る。

登録有形文化財 46-0072 平 20.4.18 登録

登録基準：国土の歴史的景観に寄与しているもの



せどめ きょうかいせいどう
瀬留カトリック教会聖堂

所在地：大島郡龍郷町大字瀬留字中郷原 271-1

構造規模：木造平屋建，瓦葺，面積 221 m²

竣工：明治 41（1908）年 /

昭和 24（1949）・昭和 62（1985）年改修

桁行 2.0 m 梁間 1.1 m 規模，北側を寄棟造，南側を入母屋造とし，南面に切妻造の玄関を突出させた教会堂で，外部は下見板張とする。正面概観は大きく改造されているが，内部は 3 廊式で，^{しんろうぶ}身廊部を高くし^{そくろう}側廊とも^{ひらてんじょう}に平天井を張り，創建時の面影をよく留める。

登録有形文化財 46-0073 平 20.4.18 登録

登録基準：国土の歴史的景観に寄与しているもの



せどめ きょうかいしさいかん
瀬留カトリック教会司祭館

所在地：大島郡龍郷町大字瀬留字中郷原 271-1

構造規模：木造 2 階建，鉄板葺，面積 114 m²

竣工：明治 41（1908）年頃 / 昭和 62（1985）年改修

教会聖堂の東に位置し，東西棟で建つ。桁行 1.2 m 梁間 6.0 m 規模，寄棟造鉄板葺の木造 2 階建で，北側に平屋建の附属屋を突出させる。外部は下見板張に仕上げる。改造はあるが，教会聖堂とともに奄美大島におけるカトリック布教の足跡の一端を物語る。

登録有形文化財 46-0074 平 20.4.18 登録

登録基準：国土の歴史的景観に寄与しているもの

